

野洲市総合計画策定における市民参加の手法について

1. 市民参加の手法について

今後のまちづくりについて市民からの意見を聴くため、市民ワークショップや懇談会を実施する。なお、市民に気軽に参加していただき、楽しみながら多くの意見を出して頂くことを主眼に置いて実施する。

①令和元年度

日時：令和 2 年（2020 年）3 月 7 日（土）午前 10 時～正午

場所：野洲図書館 ホール

想定人数：30 名程度

実施内容：ワールドカフェ形式でディスカッション（次ページに詳述）

②令和 2 年度

日時：令和 2 年（2020 年）5 月～6 月（部会ごとに 4 回実施予定）

場所：未定

想定人数：1 回あたり 30 名程度×4 回

実施内容：基本構想及び基本計画の概要説明、意見交換

2. 令和元年度の市民参加について

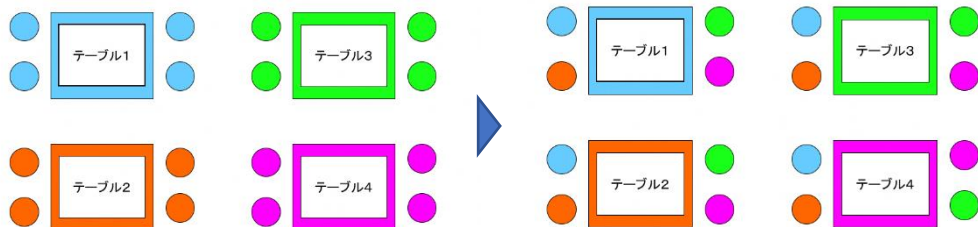
ワールドカフェという手法を用いて、自由に将来の野洲に対する意見を出してもらい、出た意見やアイデアを総合計画に反映する。

【ワールドカフェとは】

「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中でのオープンで自由な会話を通じて、生き生きとした意見の交換や、新たな発想を生む場にする、というねらいの話し合いの手法。

テーブルごとに「観光」「福祉」「環境」などのテーマを設定し、1グループ5～6人に分かれて自由に話をする。時間を区切って「席替え」を行い、複数のテーマを色々なメンバーで議論できる。

ワールドカフェにおける席移動のイメージ



【市民参画と意見反映のプロセス（写真は他市でのイメージ）】



【告知方法】

公募形式で行うが、広報やホームページだけでなく、チラシの配布や地域で活動している団体などにも声がけをすることにより、多様な世代が集まり、活発な意見交換が行われるように工夫する。